



<校訓>  
自主  
創造  
協力

令和3年4月12日(月)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する  
生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、  
みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

## 令和3年度 尾倉中学校 入学式が挙行されました！

やわらかな春の日差しを浴びながら、北九州市立尾倉中学校第75回入学式が4月9日(金)本校体育館で行われました。

新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは、小学6年生として、それぞれの小学校で、立派な最上級生として、毎日の生活を送りました。今からは尾倉中学校の生徒となりますが、みなさんは何も心配する必要はありません。尾倉中学校の先生方は、中学校3年間ではなく、義務教育9年間の最後の3年間として、皆さんを指導します。皆さんは、中学校生活への夢と希望を膨らませ、中学生としていろいろなことにチャレンジしてください。

### 【令和3年度 北九州市立尾倉中学校 第75回入学式 学校長式辞(一部抜粋)】

<はじめに>

うらかな春の日射しの中、花壇の花が美しく咲き、北九州市立尾倉中学校に入学する皆さんの新しい出発の日に大きな希望を感じさせます。

このよき日に、本校PTA会長 日野敬仁 様や保護者の皆様のご臨席のもと、本校第75回入学式を、かくも盛大に執り行うことができますことに、心よりお礼申し上げます。

<新入生のみなさんへ>

65名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校の教職員、在校生一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。今日から皆さんは、この尾倉中学校の生徒としてスタートします。胸を張り、目を輝かせている皆さんの顔には、中学生になった喜び、これからの中学校生活に対する「希望と決意」が満ち溢れています。どうぞその気持ちを、三年間大切にもち続けてください。

<尾倉中学校の目標>

尾倉中学校には、「自主・創造・協力」という校訓があり、本年度は、具体的に、「規律、感謝、情熱」を合言葉に、よりよい学校づくりを目指していきます。

の規律ですが、当たり前なのが当たり前になる人になってほしいと思います。このことを凡事徹底と言います。挨拶や掃除、時間、宿題など決められたことはきちんと守れる人になりましょう。当たりのことを進んでできるきれいな心をもつ人になってほしいと思います。

二つ目は感謝、思いやりです。「いじめをしない、許さない強い意志をもつこと。あなたのそばで困っている人がいたら、勇気をもって手を差し伸べること。そして、一人一人の友達、家族、先生方、地域の皆さんを大切にしてほしい」ということです。学校生活の様々な場面で友達のいろいろな考えを認め合ってください。

三つ目は情熱です。一時間一時間の授業を大切に一生懸命受けてください。そして、尾倉中学校の生徒としての自覚と誇りを持ち、学校行事や部活動、生徒会活動などに自ら進んで全力で取り組んでください。

以上の3つ「規律、感謝、情熱」を合言葉に、よりよい学校づくりを、ともに目指していきましょう。

<幸せな人は「変えられるもの」は「変えようとする」>

今日から始まる中学校の3年間に、一人一人が自分の可能性を信じて夢を持ち、自ら学び、自ら考え、自ら行動して、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。中学校から先は自分の手で未来を切り拓いていかなければいけません。そのために過去の自分を見つめ直し、今日から自分を変えることが必要です。自分を大切に、友達を大切に、家族を大切に、そして学校生活の一瞬一瞬を大切にしてください。

<保護者の皆様へ>

保護者の皆様、本日はお子様のご入学を、心からお喜び申し上げます。本日より大切なお子様を3年間お預かりいたします。全職員一丸となり、全力を注いで教育にあたっていきます。中学校の3年間は心身ともに変化が大きく、最も成長する時期です。子どもの自立を促しながらも、変化に気付き、励ましていくことが大切です。子どもを中心に置き、学校と家庭・地域とが太いパイプで結ばれることが必要です。連携の取れた教育の実現こそが、子どもたちの健全な成長を支えることにつながると信じています。どうぞ本校の教育へのご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。 令和3年4月9日 北九州市立尾倉中学校 校長 栗原博巳

保護者の皆様におかれましては、これから始まろうとしている義務教育の後半、仕上げの3年間の中学校生活がお子様にとってどのようなものなるのか、いろいろと想像し、期待と不安が入り混じっていることと思います。本校の現状や様子につきましては、実際にご覧になられたり、お知り合いの方からお聞きになられたりされて、それぞれ印象や感想をお持ちのことと思います。しかし、たとえ、上のお子様にも尾倉中生や昨今の卒業生がいたとしても、これからの3年間はまた大きく違ったものになります。特に、昨年度、新型コロナウイルスの影響により、あらゆる行事が中止となりました。この先の3年間も、まだ誰にも分からない状況であります。しかしながら、ご安心ください。昨年度、本校の教職員は、一斉休校の期間も、その後の学校再開後も生徒達のために労を惜みず、学習指導をはじめ、様々な働きかけを行いました。様々な行事を、やり方を工夫して行い、非常に高い教育効果を発揮いたしました。ぜひ、本校の教育活動についての理解を深めていただければ幸いです。

